

期末テスト2日目。朝のホールのベンチに1年生の女の子数人が集っている。ノートをひろげたりやら書いている子が2人。自学自習ノートだろうか▼1人は、既に何やら書かれているページが開かれている。隣の子は、白紙のページが開かれている。その他の子は、くつろいでいる。朝のこの時間に、こんな場所できっと何かしらの事情があるのだろう。声をかけると、テスト勉強をしています。と教えてくれた▼そこで目についたのが、20本はあった（何本が教えてもらったかわすれた）だろう蛍光マーカーとそれらを収納する筆箱。多い、でかい。程度の違いはあるが、どの子も似たような大きさ。しかし、中身は、学齢や年代でなんとなくかわる。リュックサックにじゃらじゃら、筆箱にどっさり、中高生のお約束のようなものだ▼中学生の時、親から「テスト当日は筆記用具以外何も持っていくな。当日になってじたばたするな。」言われていた人のことを思い出した。彼は、その約束を忠実に守り、高校ではできるだけ、荷物を少なくするように心がけていたらしい▼その期末テストが終わった。女の子数人はベンチに座っていたが、誰もノートを広げていなかった。声をかけてみると、「だって、テスト終わったもん」という答え。それぞれに、テストに向き合い、朝の場面はその中の1つのルーティンだったのだろう。おつかれさまでした。